



# 触れて・造って・楽しんで 中学生が建設業の魅力を体験

尾上中生徒が「体験型現場学習会」 | 2019.10.2

## ■建設業へ興味をもってもらうために

これまで、高校生・大学生を中心に、現場見学会などを通じて建設業界の人材確保に向けた活動を実施してきましたが、近年の少子化・建設業離れが進んでいることから、更に若い世代である好奇心旺盛な中学生に建設業への興味をもっていただくことを目的とした「体験型現場学習会」を実施しました。

(主催:一般社団法人 青森県建設業協会/青森河川国道事務所)



## ■測量や建設機械への乗車を体験

今回の学習会は、申し込みのあった平川市立尾上中学校付近の「平川市民体育館新築工事現場及びひらかドーム屋内運動場」において、2年生57名を対象に行われ、建設業の役割、重要性等についての説明を受けたあと、現在建設中の平川市民体育館の『工事現場見学』や『器材を使用した実測等の測量体験』『除雪機械や高所作業車に実際に乗車してみる建設作業機械の操作体験』『ドローンの操作体験』を行いました。

## ■見学会後の感想

見学会後には「建設業は女性が関わってなさそうなイメージでしたが説明を聞いて女性も結構関わっていて同じ女性として親近感がわいて、将来の選択肢が増えたい、カッコいいと思う」「女性が工事現場で仕事をしているのを見てとてもカッコよかった。またどんどん出来上がっていく建物を見ていると絶対達成感があると思うので将来やってみたい仕事が増えた」などの感想もいただきました。